

特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構 中期経営計画評価表（平成27年度実績）

平成28年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号 栃木県産業会館2階		設立年月	平成11年10月（任意団体設立） 平成21年9月（NPO法人化）	
市所管課	総合政策部 地域政策室		代表者	須賀 英之	
ホームページアドレス	http://www.machidukuri.org/				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	公共団体と民間団体が連携して宇都宮のまちづくりに取り組むための中核的な組織として、魅力ある中心市街地の形成を図ることで、宇都宮の将来の発展に寄与することを目的とする。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある中心市街地の形成に向けた事業 中心市街地としての都市拠点の機能向上に向けた事業 中心市街地の賑わい創出に向けた事業 中心市街地の整備改善に関する事業 				
公益目的事業比率（公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	うち市OB		正規職員等			嘱託・臨時職員等		
			1	1	正規職員	0	0	嘱託職員	0	0
		監事	0	0	再雇用職員（フルタイム）	0	0	再雇用職員（短時間）	0	0
非常勤	理事	16	1	派遣等職員	市	1	0	臨時職員等（アルバイト等含む）	1	0
	監事	2	0	市OB職員	市以外	1	0			
	計	19	2	計	4	1	計	1	0	
役員の平均年齢（歳）	63.0	役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無				0	
職員の平均年齢（歳）	57.5	職員の平均年収（千円）	4,972		個人情報保護体制の有無				0	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	備考
資産	16,005	
負債	2,601	
（うち損失補償等額）	0	
純資産	13,404	
（うち利益剰余金）	5,314	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	備考
総収入	27,218	
（うち市補助金等）	17,593	
（うち市委託料等）	0	
経常損益	1,468	
当期損益	1,275	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮まちづくり推進機構】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	実績値		
			基準値	H26年度	H27年度
1	中心市街地活性化事業の充実	平成31年度中 2事業	1事業	1事業	
2	事業協賛金の拡充	平成31年度末 7,000千円	5,000千円	4,640千円	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	実績値		
			基準値	H26年度	H27年度
3	地域連携事業の拡充	平成31年度中 4事業	2事業	2事業	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	実績値		
			基準値	H26年度	H27年度
4 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	17,549千円	17,593千円	
5	新規会員の獲得	平成31年度末 150会員	128会員	145会員	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	実績値		
			基準値	H26年度	H27年度
6 (共)	常勤役職員数の適正化	継続的な見直し	市OB職員2名	市OB職員2名	

5. その他

No	取組項目	目標	実績値		
			基準値	H26年度	H27年度
7	情報提供の充実	新たな媒体による情報の提供	機構HP	実施	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化事業の充実については、大谷石蔵レストランの管理・運営のほか、新たにオープンカフェの事業化を検討した。 ・事業協賛金の拡充については、協賛対象事業が減少したことにより減額となっているが、かまがわ川床桜まつり事業及びイルミネーション事業においては、その取組を会員に広く周知するなどして、協賛件数を大幅に増加させるなどの取組を行った。 ・地域連携事業の拡充については、かまがわ川床桜まつり事業やイルミネーション事業における他地域団体との連携事業を実施したほか、新たにオープンカフェ事業の実施に向けた地域連携事業を検討した。 ・市からの補助金・負担金の適正化については、協賛金を活用した各種事業を実施するなどして、補助金の効果的な活用に取り組んだ。 ・新規会員の獲得については、会員の確保・増強に向けた取組を行い、新たな団体・個人・賛助会員のほか、準会員も獲得し、NPO法人化後最大となる会員を確保した。 ・常勤役員数等の適正化に関しては、適切な組織体制を確立するため、既存事業の見直しや更なる業務の効率化などを進めた。 ・情報提供の充実については、機構ホームページのほかに、フェイスブック等の新たな情報提供媒体を活用し、事業活動の周知や中心市街地に来訪するための魅力の発信に取り組んだ。 <p>いずれの取組についても概ね順調に進行しているが、自立的・安定的な経営基盤を確保するため、今後とも自主財源の更なる確保を図るとともに、事業体制の効率化を推進しながら、中心市街地の活性化に向けた効果的な事業展開をしていく。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立的・安定的な経営基盤の確立 ・会員数の確保及び協賛事業の拡充 ・新たな収益事業の発掘 ・魅力ある中心市街地の形成に向けた事業の充実・強化
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化事業の充実に向け、新たにオープンカフェ事業の実施について、地域と連携を図りながら検討を進めているところであり、公益的活動の推進に努めている。 ・事業の実施に当たっては、市からの補助金・負担金だけに依存することなく、協賛金等を確保しながら事業の推進に努めている。 ・平成27年度は、会員の確保・増強に向けた取組により、会員数及び会費収入の増加につながった。また、事業の円滑な推進に向けては、会員に加え、準会員制度を創設し、NPO法人化後最大の会員数となり、組織の強化につながったことは評価できる。 <p>自立的・安定的な経営基盤の確保に向け、概ね順調に進行している。しかしながら、自主財源の確保など、更なる経営改善を進めていくことが求められる。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立的・安定的な経営基盤の確立 ・上記、経営基盤を確立するための新規収益事業の発掘 ・事業の円滑な推進に向けた会員の確保